

新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道

19

耳原鳳病院の思い出

耳原鳳病院は1981年に新築移転されリハビリテーション病院としてスタートしました。3年後の1984年に研修医として同仁会に入職しました。学生時代に障害者ボランティアをしてい



したが、当時多くの障害には神経内科、リハビリテーションの研修が重要と考

者は病院や施設での生活を強いられました。同世代の進行性筋ジストロフィーの仲間達も国立療養所の病棟で暮らして

「日本一のリハビリテーション」をめぐって、池田先生の一言で就職をきめました。研修医として最初に配属されたのが耳原鳳病院

後東北大学教授)、白井(その後糖尿病専門医として開業)、三宅でした。

野、津島、野上、糖尿病担当の島田先生という豪華な指導医の布陣、研修医は松本(その後耳原総合病院院長)、中保(その

その後、耳原総合病院の各内科棟での研修、東大阪生協病院支援のあとスタッフとし

て耳原鳳病院リハビリテーション病棟に着任しました。

一次号へ続く(耳原鳳クリニック 三宅 徹也)

新鳳クリニック 工事現場見学会と地場野菜の即売会とフリーマーケットのご案内

11月17日(日) 10時~13時(小雨決行)

- 見学会時間割
 - ① 10時10分~10時30分
 - ② 10時40分~11時00分
 - ③ 11時10分~11時30分
 - ④ 11時40分~12時00分
 - ⑤ 12時10分~12時30分
- 受付・集合場所 耳原鳳クリニック 1階外来待合室
- 各回、先着順。
- 予約希望者は、同仁会本部組織部(下記電話)まで
- 電話: 072-244-8061

工事現場のため、安全配慮から20人一組の時間制とし、施工会社の責任者より案内させていただきます。

主催) 耳原鳳エリア建設委員会 協力) 株式会社昭和设计 堺土建株式会社

「いのち育む森 寄って耕す ワークショップ」

~わたしたちの庭~

第1回

9月12~13日『いのち育む森寄って耕すワークショップ』と題して、みどりの活動をされている



皆さんに集まっていたいただきました。健康友の会みみはら新金岡支部「メリアガーデン」、鳳クリニク「センスオブワンダー部」、みみはら在宅クリニック「おいしい天国の庭」に加えて患者さんご家族や、本部からも参加



者が集まりました。活動の発端は違いますが、どこも自分たちのコミュニティから少しふみだし、また繋がりながら取り組まれています。たとえ植えたものが上手く育たなくても「また挑戦する」という考えは、植物と対

話しながら逞しく生き抜く術を体験しながら得ているのだと発表を通じて感じました。グループワークでは個々の「記憶にある居心地のいい庭」から織りなす「わたしたちの庭」を創造し、たくさんさんの憧れなど多様なキーワードが出てきました。

今回のワークショップでの成果を活かして10月には第2回を開催し、同仁会建設事業に掛かるランドスケープについてアイデアを出し合います。引き続きワークショップ

理事会報告

9月理事会 (概要)

開催日時: 9月26日(木) 午後6時~7時52分

出席: 理事 26名 監事 3名

〈主な内容〉

- ◆報告
 - ・拡大常任理事会、各種委員会概要
 - ・健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
 - ・無料低額診療の各事
- ◆業所実績
 - ・2024年8月度決算概要
 - ・みみはら2030年の樹の進捗について
 - ・不動産の購入(大仙西町)について契約完了の報告

堺区大仙西新エリア 建物外装のワークショップを開催

8月30日に建物の外装カラーの検討を行いました。

た。住宅型有料老人ホームを運営する社会福祉法人ひまわり会



※イメージ図となります

人ひまわり会のコンセプトカラーである黄色をベースに、アートのコンセプトカラーも踏まえて6案を提案しました。その場で多数決は取らず、「気に入ったポイント」「どんな印象か」を大仙西プロジェクト会議のメンバーの皆さんにご意見を伺いました。黄色にマッチするブルーを入れ建物のつながりを演出したり、

コンセプトに入っている海をイメージする水色を入れながら、コミュニケーションスペースを認識してもらえようという提案となりました。

そしてみなさんから出されたご意見から、最終的には設計士と施工者に確認をとり、このような外装のイメージになる予定です。水色は少し冒険かも...というご意見もいただきましたが、地域のランドマークとなるようなエリアにしていきたいと思えます。



「研修医育成」に皆さまの声を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)